条例

学 校 職 員 \mathcal{O} 給与に 関 す る条例 及び会計年 -度任用 学 校 職 員 \mathcal{O} 報 酬 等 に 関 する 例 \mathcal{O}

令和三年十月十五日

を改

正

する条例

のをここ

に

公布

きする。

埼玉県知事 大 野

元

埼玉県条例第五十号

例の 学校 は職員の 一部を改正する条例 給与 関する 例 及 び会計 年度任用学校 職 員 \mathcal{O} 報 酬 等 関 す る条

(学校職員の給与に関する条例の一部改正)

を次 0 · 校職 ように改 員 の給与に関 正 す す ,る条例 (昭和三十一年埼 玉県条例第三十三号) \mathcal{O}

に、 五. 分 分 0 0 第十二条の二第二項 百七 を「百分の百 五十二・五」 「百分の百七 五 を ・五」を「百分 に改める。 「百分の九十二・ 十二・五」に、 中 百百 分の の九十二・五」に 百二十七 五. 百百 分の に 改 • 七十二・ め、 五. を「 同条第三項 五. 百 「百分の六十二・ 分 を \mathcal{O} 一百百 中 百 百百 1分の 分 • 六十二・ \mathcal{O} 五. 五 を 百二十 一百

第二条 学校職 員の 給与に関する条 例 \mathcal{O} __ 部 を次 のように 改 正 す

+ = . 分 九十二・五」 8 の百二十」 第十二条の二第二項 る。 五. を に、 百百 を「百分の百 分 「百分の 0 百 中「百分の百十二・五」を「百 に、 六十二・ 」に改め、 百百 五. 分の 同 五. を 条第三項中「百 + = -「百分 五. 0) 六十七・ 分 を 「百分 分 の百二十」 \mathcal{O} 五. 百 + = . \mathcal{O} 五.十 に、 五. 七 「百分の 百百 を「百 Ŧī. 分 九 \mathcal{O}

(会計年度任 用 学校 職 員 \mathcal{O} 報 酬 等に 関す る条例 \mathcal{O} 部 改 正

第三条 会計年度任用学 校職 員 \mathcal{O} 報 酬 等に 関 する条 例 (平成三十 -- 年埼 玉 例

一十号)の一部を次のように改正する。

第三条第三項中「別表」を「第五条及び別表」に改める。

第八条を第九条とする。

第七条中 「前 四条」 を 「前 五. 条」 12 改 8 同条を第 八 条とし、 第六条を 七

と 第五 条を第六条 とし、 第 四条 \mathcal{O} 次 12 次 \mathcal{O} _ 条を 加 える。

(期末手当の支給の特例

五条 い 第三条第 同 \mathcal{O} 二第 条第二項 八 項 項 に規定す に \mathcal{O} 規定に 規定す んる方法 る基 ょ り 準 支 に 給 日 ょ す \mathcal{O} 属 n る 算 す 期 出 る 末 年 手 度 当 た 額 \mathcal{O} \mathcal{O} 四 月 とす 額 は 日 に 校 お 職 員給 11 て 施

附則

月一日から施行する。